

お金って何?

お金はわたしたちの生活と切っても切れない関係にあり、高いリスクを負ってでも、より多くのお金を手に入れようとする人もいます。人の成功が、稼いだお金の多さで判断されることもありますし、お金が十分でないことで苦しむ人もいます。

お金、お金、お金

では、いったいお金って何なのでしょう? お金でまず思いうかぶのは、ポケットや財布に入っている現金——お札と硬貨——です。お金の代わりになるものもあります。たとえば、親戚のおじさんが郵送してくれた図書カードや、決められた店だけで使えるクーポン券。お金を銀行に預けている人も多いでしょうが、目で見ることができるのは、通帳に記された数字だけです。クレジットカードやデビットカードを持つにも、オンラインで買い物をするにもお金は必要です。

交換しよう!

お金にはいろいろな形がありますが、そのすべてに共通しているのが、それで物を買うことができるということです。経済学ではこれを“交換手段”と呼びます。たとえば、欲しい物、必要な物があるとき、自分が持っている物を差し出してそれと交換します。友達が行くつもりのないサッカーの試合のチケットを

持っていたら、ヘッドフォンと交換しようともちかける。あるいは、ヘッドフォンをだれかに売り、そのお金でチケットを買い取る。ヘッドフォンをお金に換えれば、使い道は広がります。ヘッドフォンを欲しがっていない人から、べつ物を買うこともできます。

お金は貯蓄でも...

...価値を測る単位となり...

...物と交換できる。

お金は歴史の流れを決定する際に、
もっとも大きな役割を果たす。

——共産党宣言

④ お金の役割とは?

お金には3つの主な役割がある。貯蓄する、価値を測る、物と交換する、の3つだ。

金銭を愛することは、
すべての悪の根である。

——欽定訳聖書、
テモテへの第一の手紙より

持続する価値

お金には3つ目の重要な役割があります。それは将来のために貯蓄すること、経済学で言う“価値貯蔵”です。わたしたちは働いて賃金を支払われます。支払う側にお金がない場合は、食料などの必需品が支給されます。しかし、給料袋をもらえば——あるいは、銀行口座に振り込みがあれば——食料や衣料品を買い、勘定を払うことができます。いろいろなものに使えます。必要な物を買ってもなおお金が残っていたら、あとで使うために貯金しておけます。美術品や貴金属や土地という形で価値を貯蔵する方法もありますが、お金のほうがずっと動かしやすく、楽に交換できます。お金は扱いやすく、その価値が持続するので、銀行に預けておいて必要なときに交換が可能なのです。

貨幣学とは、貨幣や紙幣といった形のお金を研究し、あるいは収集すること。

お金に価値はあるのか?

船が難破して離れ小島に流れ着いたと想像してみよう。浜辺には難破船から出た漂流物が散乱している。紙幣がぎっしり詰まったスーツケース、金が詰まった木の箱、ブリキの箱、袋に入った食べ物。あなたにとって一番価値があるのは? 使う場所がどこにもなければ、お金や金にどんな価値があるだろう?